

天高く豊作に感謝!

あさげ新聞

地域共生推進室 発行
【12号】
2021年10月6日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント!
mail :
ta-hara@koaglobal.com



- 1. 稲作事業**
 - 【白毛餅/コシヒカリ栽培】
 - ・コシヒカリのヒエ除去作業
 - ・白毛餅米の稲刈り、稲架かけ
 - ・コシヒカリ稲刈り、稲架かけ
 - ・土手の草刈り
- 2. 薬草事業**
 - 【センブリ栽培】
 - ・殺菌剤の散布
 - ・雑草除去
- 3. 園芸事業**
 - 【どうもこし栽培】
 - ・マルチ撤去作業
 - ・土手の草刈り
- 【野菜栽培】**
 - ・大根の種まき
 - ・白菜、キャベツ、ブロッコリー
 - ・大根、レタスの苗の定植
 - ・ハウス内へ秋キュウリ苗定植
 - ・野沢菜の種まき

稲作事業

〈白毛餅米栽培〉

白毛餅の田んぼは五枚で三反七畝を栽培し、心配した倒伏も無く稲刈りを迎えました。そのうちの一枚はしめ飾り用や野菜畑用の敷き藁用として、バインダーで刈り稲架かけをしました。田んぼ五枚の内、三枚

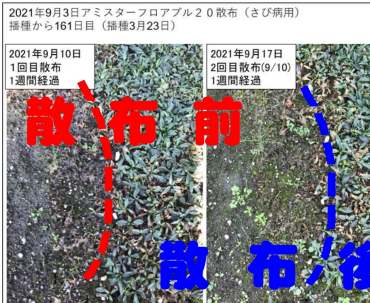


コシヒカリの田んぼは五枚で五反四畝を栽培し、稲刈りの時期になりましたが、一番大きな二反五畝の田んぼのヒエが多く、稲刈りでヒエの種が飛散しない様に、ヒエの穂先を手で摘み取りました。田んぼへ入ると『ポタルイ』と言う雑草が目に絡み歩くのにも大変でした。田んぼの水持ちが悪く部分的に除草剤の効果が悪かったようです。来年の為に稲刈り後に除草対策を講じます。

コシヒカリはアトムに出荷するために、コンバインを2台に委託しており刈り取りは十月以降に行う予定です。

残りの四枚は、飯島町塩澤さんに三条刈りコンバインをお借りして稲刈りを行いました。コンバインでの稲刈りは初めてでしたが、塩澤さんの指導を受け二日間無事完了しました。収穫した籾は水分量が二十四パーセントぐらい有り、そのままだの状態だと腐ってしまうので

今回は初めての事ばかりです。お借りしたコンバインは、はるか八十キロメートル離れた飯島町から積載量二トンのキャリアカーを借りて運搬しました。



乾燥機で十六〜十五パーセントまで乾燥させます。当初乾燥は佐々木さんの乾燥機だけで行う予定でしたが、収穫が見込みより大幅に多かった為、急遽塩澤さんの乾燥機もお借りしました。

荷台が自動でズレ、コンバインを積載しウインチで固定します。積載はとても簡単ですが、車長が長いので内輪差に気を付けなくて脱輪や壁に接触しそうでしたが、あさげの里名ドライバのおかげで無事に運搬を遂行しました。

〈コシヒカリ栽培〉



殺菌剤を散布した二十日後にセンブリの状況を確認すると葉枯れの侵攻が治まっていた。季節要因もありますが、殺菌剤の効果があったと思われる。

薬草事業

〈センブリ栽培〉

おせんしょ市場にご提供しておりました夏野菜ですが、九月十七日をもって終了とさせて頂きました。それに伴い沢山のキュウリを収穫した網棚も名残惜しみながら撤去しました。



でもご安心ください。八月末に種まきしたキュウリの苗がハウスで順調に育っております。



予想はしていましたがマルチ両サイドに草が生えて根を張り、手で剥がせません。鍬でサイドの土を掘り起こし十八畝のマルチを全て剥がしました。畝長が約百メートル有りさすがに体に応えます。



十一月からキュウリを含め秋野菜の提供再開を予定しています。

昨年撒いたセンブリの花が咲きました。昨年は二十万粒種時きを行いました。ひと冬越しして生き残ったのは三百株でした。十月は収穫時期ですが、出荷できる量ではない為、長野県製薬小谷先生のご指導を仰ぎながら、少量ですが収穫と乾燥のやり方を学ぶ来年に備えたいと思います。

提供される秋野菜は、大根・白菜・ブロッコリー・キャベツ・レタス・野沢菜・サツマイモなどです。



予想はしていましたがマルチ両サイドに草が生えて根を張り、手で剥がせません。鍬でサイドの土を掘り起こし十八畝のマルチを全て剥がしました。畝長が約百メートル有りさすがに体に応えます。

薬工房建屋横の阿南工業跡地前の草が道路まで伸び見通しも悪く危険であった為、阿南町管轄の敷地ではありましたが草刈りを行いました。道を毎日往來しているトラックの運転手から『見通しが良くなつてありがたい』との、お言葉を頂きました。

米俵保存会へ十一月初旬に納入予定の福縄も、七月二十二日から作製に取り掛かり、日産数量を上げる為の段取り改善を進め、九月末で七百八十五個の福縄が完成しました。残り二百十五個を十月で作製し出来次第納入予定です。

収穫が終了したどうもこし畑のマルチと茎の撤去を行いました。先ずは、茎を草刈り機でカットし、次にマルチを剥がしました。

米俵保存会へ十一月初旬に納入予定の福縄も、七月二十二日から作製に取り掛かり、日産数量を上げる為の段取り改善を進め、九月末で七百八十五個の福縄が完成しました。残り二百十五個を十月で作製し出来次第納入予定です。



予想はしていましたがマルチ両サイドに草が生えて根を張り、手で剥がせません。鍬でサイドの土を掘り起こし十八畝のマルチを全て剥がしました。畝長が約百メートル有りさすがに体に応えます。

予想はしていましたがマルチ両サイドに草が生えて根を張り、手で剥がせません。鍬でサイドの土を掘り起こし十八畝のマルチを全て剥がしました。畝長が約百メートル有りさすがに体に応えます。

予想はしていましたがマルチ両サイドに草が生えて根を張り、手で剥がせません。鍬でサイドの土を掘り起こし十八畝のマルチを全て剥がしました。畝長が約百メートル有りさすがに体に応えます。